

公募型共同研究の採択テーマを決定！

～クラウドと連携した5G・IoT・ロボット製品開発等支援事業～

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、**クラウドを活用した製品開発・事業化**を支援しています。この度、2024年度の**公募型共同研究※**として開発型研究および実証型研究を募集し、**8件のテーマ**を採択しました。

採択したテーマ

	テーマ名	申請事業者名（所在地）
開発型	IoT技術を活用したクラウド連携型アシストスーツの研究開発およびクラウド型解析プラットフォームの構築	アルケリス株式会社(東京都中野区)
	地域/自営BWAから5Gの円滑な移行方式の開発	株式会社FLARE SYSTEMS(東京都文京区)
	医療専用の視線追跡技術搭載VRヘッドセットの開発	株式会社FOVE(東京都港区)
	TSN対応ローカル5G装置の開発	株式会社マグナ・ワイヤレス(東京都八王子市)
	効率的な自律式空間撮像システムの研究・開発	株式会社モルフォ(東京都千代田区)
実証型	自律型橋点検支援ロボットの実証実験	アップウインドテクノロジー・インコーポレイテッド(東京都港区)
	ヒューマノイドロボットの社会実装に向けた実証実験	INSOL-HIGH株式会社(東京都千代田区)
	サインージ型おもてなしサービスロボット	NUWAロボティクスJAPAN株式会社(東京都港区)

今回募集した公募型共同研究の概要（参考URL: <https://www.iri-tokyo.jp/news/press-2024-08-15>）

	開発型研究	実証型研究
研究目的	製品化やサービス提供等を目指す研究開発	フィールド実証実験を通じて製品化やサービス提供等の事業化を目指す研究開発
研究実施対象者	東京都内に登記簿上の事業所があり、かつ日本国内に活動拠点を構える中小企業者。またはその中小企業者を代表申請者※とし、中小企業、中堅企業、大企業、大学等の複数の法人で構成された共同体。※「実証型研究」のみ、代表申請者が中堅企業または大企業も可。ただし、創出される事業は中小企業が主体となって行うこと。	
研究の種類および要件	クラウド活用を前提とした通信機器・IoT製品・ロボットの製品化やサービス提供等を目指す研究開発。研究終了後、概ね1年以内に製品化を目指していること。	クラウドを活用した通信機器・IoT製品・ロボットのフィールド実証実験から、製品化やサービス提供等の事業化を目指す研究開発。研究終了後、概ね6か月以内の事業化を目指していること。
研究開発期間	2024年12月1日から最長1年間（2025年11月30日まで）	
委託上限額	1テーマあたり5,000万円※ ※「実証型研究」において、代表申請者が中堅企業または大企業の場合、全体経費の70%以上を中小企業者が使用すること。	

- ※公募型共同研究とは
- 事業化の実現可能性が高い開発テーマを広く募集（公募）
 - 採択された研究開発を中小企業へ委託（委託研究として委託費を提供）
 - 開発に必要な技術の一部を都産技研が共同研究として分担し、製品化・事業化を目指す

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
企画部プロジェクト企画室 玉置 TEL 03-5530-2558
企画部経営企画室 大原 TEL 03-5530-2521 E-mail: koho@iri-tokyo.jp

<https://www.iri-tokyo.jp/>

配布担当 東京都立産業技術研究センター 企画部 経営企画室 広報係 TEL 03-5530-2521